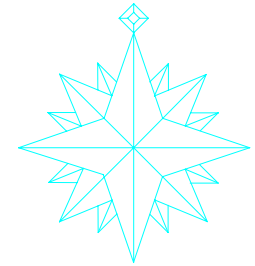


大浜崎潮流通航信号所 1 / 3

台紙(切り抜く)



尾道海上保安部
航行援助センター

大浜崎船舶通航信号所

所在地 広島県因島市大浜崎

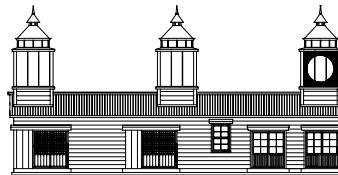
大浜崎船舶通航信号所は明治43年4月、潮流が強い来島海峡の迂回航路である三原瀬戸に高根島と共に設置された船舶通航信号所のひとつで、潮流信号所も併設していました。

船舶通航信号の業務は右の説明のとおりで昭和29年4月までの44年間行われました。

木造の信号所の建物は昭和61年11月に因島市が補修し、灯台資料館としています。

明治当時の潮流信号所の面影を残す建物としては現在では大浜崎だけとなっています。

第一種(昼間)



第一種(夜間)

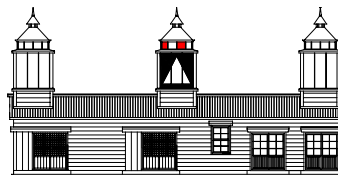


西行船に対して
高根島小佐木島間に在りて東方に航行する船あり
東行船に対して

外楯崎以東に在て西方に航行する船あり

西行船・備後灘から三原瀬戸、安芸灘に向かう船 以下同じ
東行船・安芸灘、三原瀬戸から備後灘へ向かう船 以下同じ

第二種(昼間)

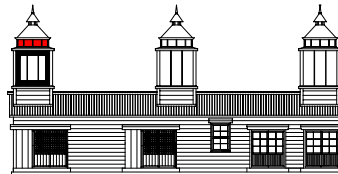


第二種(夜間)



西行船に対して
小佐木島細島間に在て東方に航行する船あり
東行船に対して
外楯崎以西に在て西方に航行する船あり

第三種(昼間)

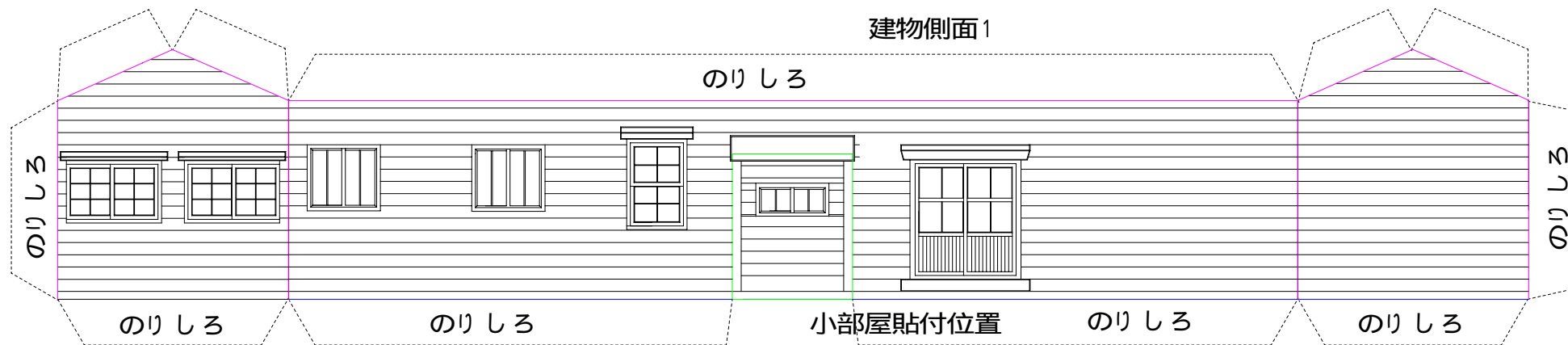


第三種(夜間)

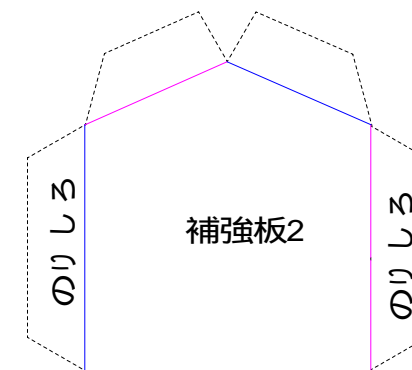
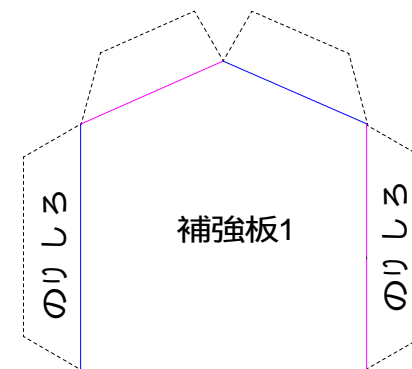
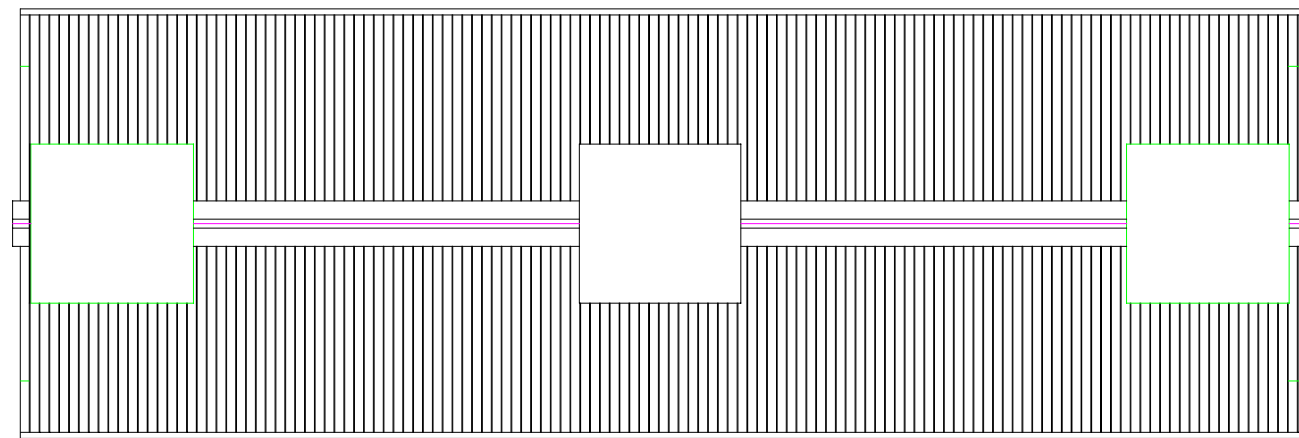
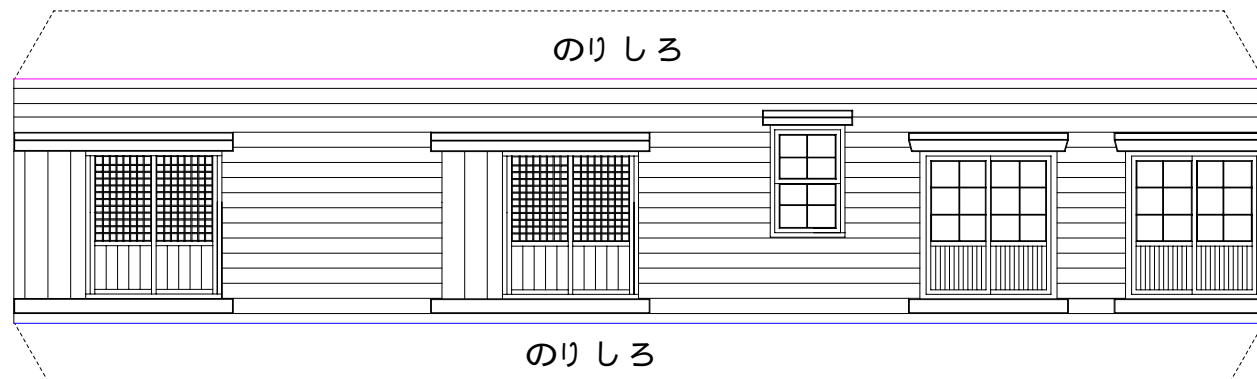


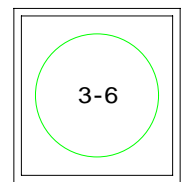
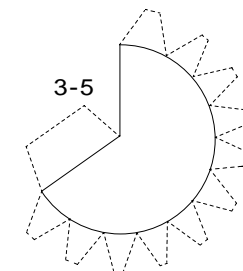
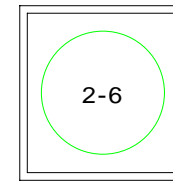
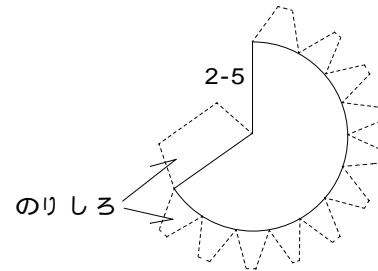
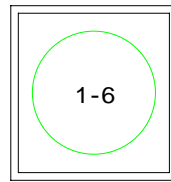
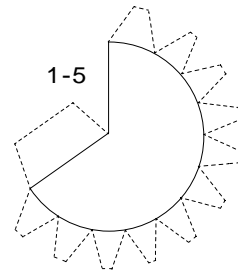
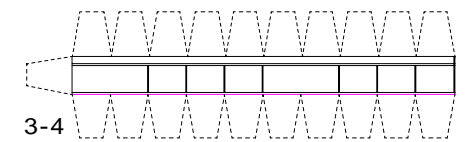
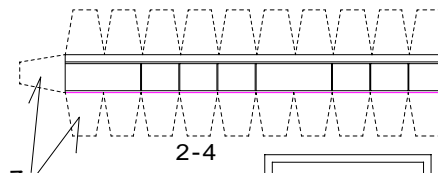
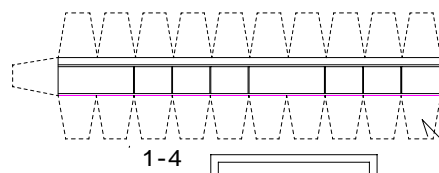
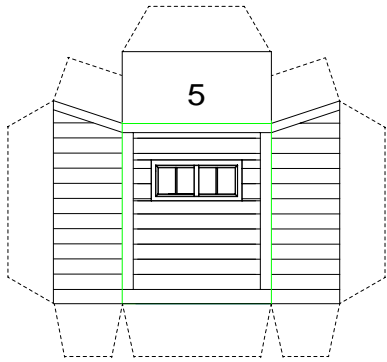
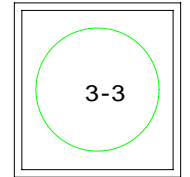
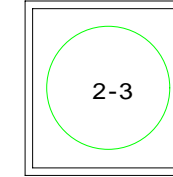
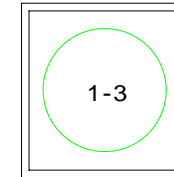
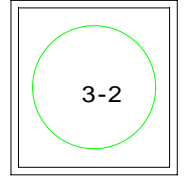
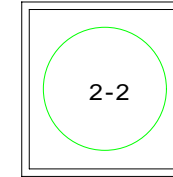
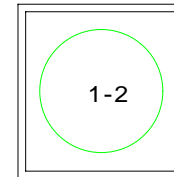
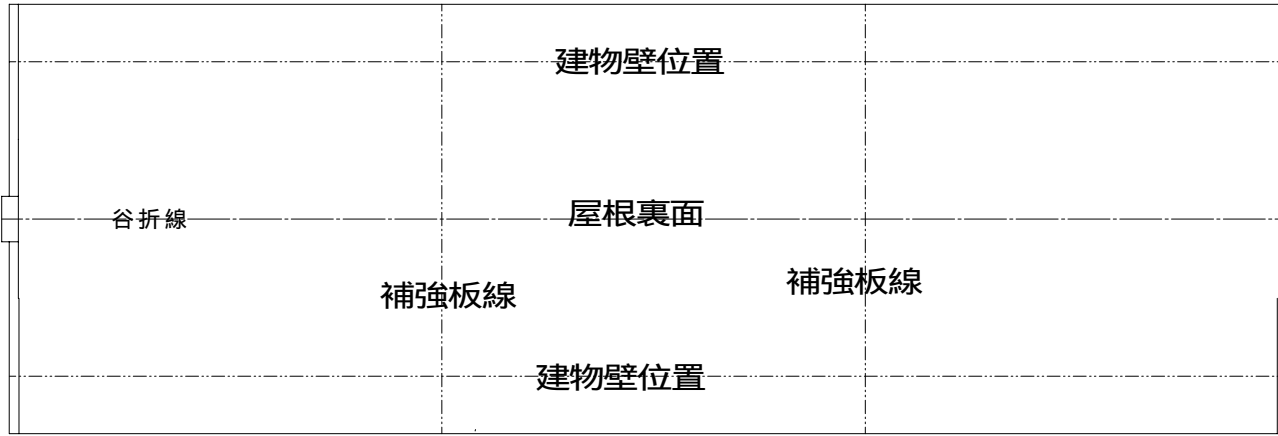
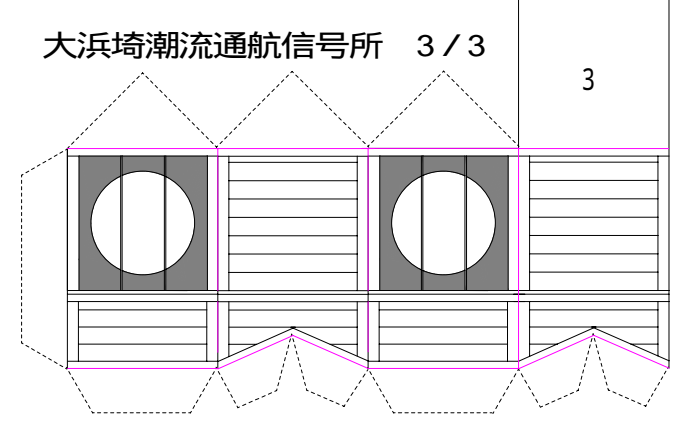
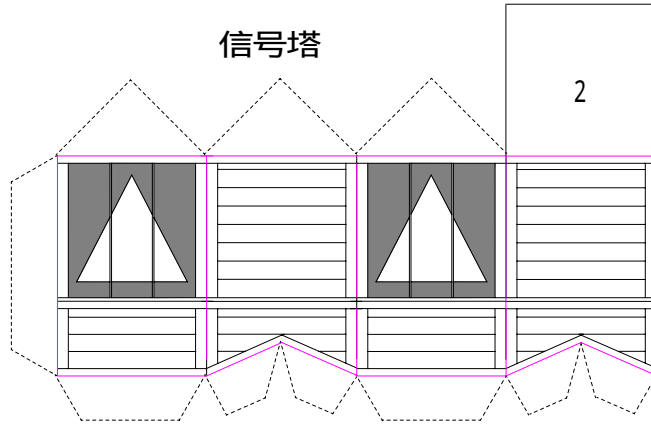
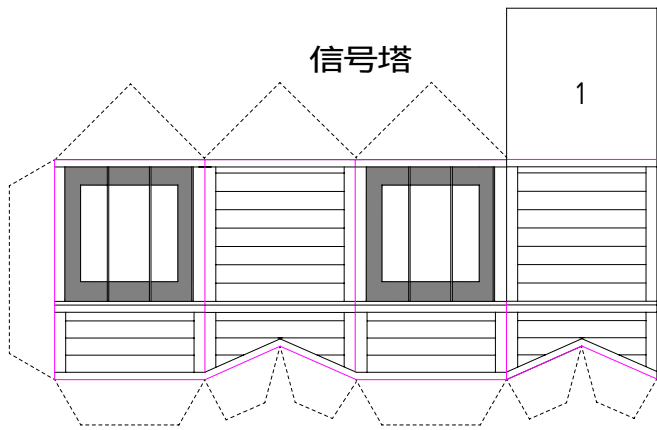
西行船に対して
小佐木島以東に在て東方に帆船群走す
東行船に対して
布刈瀬戸に帆船群走す

建物側面1

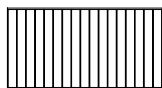


建物側面2

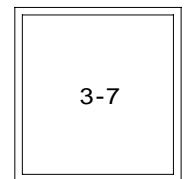
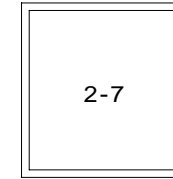
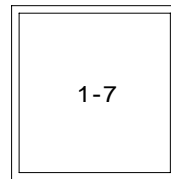




5 の屋根



信号塔上の円錐



大浜埼船舶通航信号所を作ろう

これは作り方の一例です。いろいろな方法がありますので試してください

小物から造り次第に組み立てていくのがコツです。

形紙3/3の 1-5のノリシロを合せ円錐を作り、下側のノリシロは台座1-6の中の円を切り抜きその下に貼り付けます。

塔の円筒部分1-4を切り抜き横のノリシロを貼り円筒形を作り、上部ノリシロは台座1-2、下部ノリシロは台座1-3の円を切り抜きその円を通して夫々糊付けします。(下の信号塔上部構造図を参考にしてください)

と で作った物を貼り合せて上部構造物を作ります。台紙からはみ出した余分なノリシロは切り取ってください。

で作成したものの下に台座1-7 を貼り付けて屋根の上の信号塔上部構造物が出来上がりです。

2, 3 の信号塔の上部も同じように組み立てます。

形紙3/3 の屋根裏面を切り取り字が書いてあるほうに谷折しておきます。

形紙2/3 の屋根補強板を切り離し上のノリシロを屋根裏面用紙の補強板線上に貼り付けます。

形紙2/3 の建物側面1, 2 を切り離し糊付けし箱の形にします。上下のノリシロは谷折しておきます。

補強板1, 2 をつけた屋根裏用紙の建物壁位置に建物側面が来るように糊付けします。

屋根の表面用紙を屋根裏用紙と貼り付けます。このときは全面に糊付けせず縁周りだけでも良いでしょう。

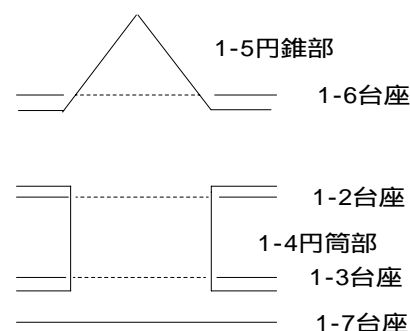
形紙3/3 の信号塔上部の1の部分に で組み立てた上部構造物を取付けます。以後同じように2, 3にも取付けます。

形紙3/3 にある5 の小屋を組み立てます。組み立て後屋根を貼り付けます。

で作った小屋を建物側面1の小部屋部分に貼り付けます。

建物が出来上がったなら1/3 の台紙部分を切り抜き、ノリシロを下に差し込んで台紙の下側に糊付けして出来上がりです。

信号塔上部構造物



屋根裏用紙と 建物側面

